継続 北陸新幹線2次交通運行事業費

(前年度)

700万円

700万円

担当課 地域振興課

電話番号

30 - 2949

1. 本市の現状と課題

平成27年春の北陸新幹線長野・金沢間開業に伴い、大都市圏と直結した交通基盤が整いました。しかし、 既存の交通機関では、北陸新幹線最寄り駅である新高岡駅から本市への移動には乗り換えが必要になるため、 新高岡駅と本市とを結ぶ交通機関を確保し、氷見市民や来訪者の利便性を向上させる必要があります。

2. 平成31年度事業の内容

速達性に優れた高岡和倉間高速路線バス「わくライナー」を運行するための負担金を拠出します。 「わくライナー」は高岡駅・新高岡駅から本市を経由し、石川県七尾市の和倉温泉に至る高速バス路線で、 市内には「ひみ番屋街」「ひみ阿尾の浦温泉」「岩井戸温泉」の3つの停留所を設けます。

3. 目標値または実施により求める効果

「わくライナー」が北陸新幹線新高岡駅の2次交通として機能し、利便性が向上することで、新高岡駅を中心とした飛越能地域の交流人口が増加し、地域経済の活性化が期待されます。

(単位:万円)

市の負担 700 財 源 経 負担金 700 費 内 訳 継続

氷見市観光協会補助金

1,322万円

74-8106

(前年度) 電話番号 1,330万円

担当課 商工観光課

1. 本市の現状と課題

観光振興は、交流人口の拡大に大きく貢献し、雇用の創出につながるとともに、産業の裾野が広く、地域に 大きな経済効果をもたらす原動力になるものと期待されています。

2. 平成31年度事業の内容

地域の観光振興の中核を担う一般社団法人氷見市観光協会の運営経費の一部を市が補助します。

3. 目標値または実施により求める効果

観光協会の安定的な運営と実施事業の充実を図ります。

(単位:万円)

市の負担 1,322 財 源 経 補助及び交付金 力 訳



継続 コンベンション・修学旅行等誘致推進事業費

356万円

(前年度)

350万円

担当課 商工観光課

電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

人口減少が続く中、交流人口の拡大や経済活動の活性化を図るためには、宿泊客の誘致が重要となっています。 そのため、県外からの団体客をターゲットに、コンベンション(スポーツ大会や学会など)や修学旅行などを誘致 します。

2. 平成31年度事業の内容

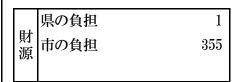
市内で宿泊する県外参加者を含む広域規模のコンベンションや、県外からの修学旅行などに対して、経費の一部を助成します。修学旅行の誘致(新規含め7校程度)、コンベンションの開催(新規含め8回程度)を予定しています。

3. 目標値または実施により求める効果

大会や合宿等による延べ宿泊者数2,000人以上を目指します。

新規大会などを1回以上増やします。

(単位:万円)



		(年四.711)
経費	補助及び交付金	356
内訳		



修学旅行でのかまぼこ絵付け体験

継続

観光情報センター管理運営事業費

(前年度)

639万円

担当課 商工観光課

電話番号

74-8106

623万円

1. 本市の現状と課題

氷見漁港場外市場 ひみ番屋街の南の番屋に氷見市の観光情報を発信するスペースとして、観光情報センター を設けています。

2. 平成31年度事業の内容

氷見まちづくり株式会社に管理及び運営を委託します。

3. 目標値または実施により求める効果

ひみ番屋街を訪れた観光客が、市内の様々な観光施設の情報を得て、そこへ足を運んでいただくことが期待 されます。

(単位:万円)

市の負担 623 財 源 経 費 内 訳 を を き 使用料及び賃借料 312



観光情報センター

継続 観光戦略事業費

1,656万円

(前年度)

1.876万円

担当課 商工観光課 電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

北陸新幹線が開業し、本市に、里海や里山の多彩な食などを求め、多くの方が訪れています。この効果を持続 させ、市内全域に波及させていく必要があります。

2. 平成31年度事業の内容

首都圏や新幹線沿線、姉妹都市などでの観光宣伝や新聞・旅行雑誌等への観光情報の掲載、観光パンフレット 等の増刷などを行います。また、観光船を活用した富山湾の魅力発信、富山湾岸サイクリングやまるまげ祭り などの誘客イベントの支援を行うとともに、他市と連携した広域観光事業を実施します。

3. 目標値または実施により求める効果

本市の魅力を広く発信することで、認知度を高め、誘客を促進するとともに、観光地としての受入環境の充実 による来訪者の満足度の向上を図ります。

	国の負担	81
財	市の負担	1,575
1/21		

		(平位:2011)
経	印刷製本費	452
費肉	印刷製本費 委託料 その他	431
訳	その他	773



継続 氷見のおもてなしレベルアップ事業費

(前年度)

40万円 40万円

担当課 商工観光課 電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

これまでの地元客主体のサービススタイルのみならず、訪日外国人旅行者(インバウンド)を含めた新たな 客層に対応できるサービスを提供していく必要があります。

2. 平成31年度事業の内容

研修や出向宣伝、他団体との交流等を進め、おもてなしのレベルアップに努める団体に助成します。

3. 目標値または実施により求める効果

海外や日本各地から観光客を獲得できるよう、おもてなし力の向上を図ります。

Ī		市の負担	40
	財涯		
	<i>UT</i>		

	(単位:万円
経 補助及び交付金 費 内 訳	40



ひみ凰の会の花嫁のれんを通じた交流

新規 滞在型観光推進事業費

2,048万円

(前年度)

担当課 商工観光課 電話番号

74-8105

1. 本市の現状と課題

観光客の平均滞在時間が3時間程度と短く、飲食や買い物、宿泊などで農山漁村やまちなかへ観光客が回遊 していない状況にあります。滞在時間は観光消費額と直結するため、地域経済効果が十分発揮されるよう、 滞在時間を延ばす仕組みづくりが必要です。

2. 平成31年度事業の内容

農泊や体験プログラム等の滞在型観光のスキームづくりと実施主体となる法人の設立支援を進めます。また、 アジアを中心とした海外や国内の大都市圏などでのプロモーションを進めるとともに、外国人の目から見た 地域資源の掘起こしや国内外への情報発信等を行う訪日観光コーディネーター人材の招請等を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

滞在型観光を推進し、観光入込客数の拡大等による地域活力の創出を図ります。

(単位·万四)

н.	国の負担	1,024
財源	基金繰入金	900
1/41	市の負担	124

		(年位:2011
経	委託料	1,982
113	委託料 旅費	66
訳		



海外出向宣伝の様子

拡充 インバウンド対策事業費

(前年度)

621万円 420万円

担当課 商工観光課

電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

国が訪日外国人旅行者(インバウンド)を2020年までに4,000万人にするとの目標を掲げる中、本市でも 近年、外国人旅行者が増加してきています。ターゲットを定め、その市場や顧客ニーズを把握し、文化的背景 を理解した上で外国人旅行者をお迎えするための専門知識や経験を有する人材の育成が重要です。

2. 平成31年度事業の内容

市内観光業者等のスタッフを対象に「訪日おもてなし」研修(中級編)を行います。また、外国人旅行者の 利便性を高めるためのAI(人工知能)音声翻訳機の購入や観光Wi-Fiの整備等の支援を行います。また、 10月開催予定の「世界で最も美しい湾クラブ」総会での氷見市のPRや海外出向宣伝も実施します。

3. 目標値または実施により求める効果

宿泊施設での外国人旅行者の受入れ環境の向上等を進め、外国人旅行者数の増加を図ります。

	県の負担	50
財 源	市の負担	571

		(単位:万円)
	工事請負費	255
費内	委託料	173
訳	その他	193



 継続
 団体旅行誘致・新高岡駅利用促進事業費
 297万円 (前年度) 300万円

 担当課 商工観光課
 電話番号 74-8106

1. 本市の現状と課題

新幹線開業から5年目を迎え、観光入込客数や宿泊者数の減少が懸念されています。

2. 平成31年度事業の内容

北陸新幹線新高岡駅利用と本市来訪を組み合わせた団体旅行を支援するため、旅行会社に対し、実際に催行した人数・旅行内容に応じて助成を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

新高岡駅利用者数の維持・向上を目指すとともに、本市を目的地や宿泊地とした団体旅行商品の造成を促進します。

市の負担 297 財 源 (単位: 万円) 経 委託料 297 費 内 訳

新高岡駅利用の団体旅行を誘致

継続 潮風ギャラリー管理運営事業費

463万円

(前年度)

453万円

担当課 商工観光課

電話番号

74-8036

1. 本市の現状と課題

まんがを生かしたまちづくりに積極的に取り組み、商店街の賑わい創出を図るためには、「氷見市 藤子不二雄④ まんがワールド」の中核施設であり、市出身の藤子不二雄④先生の作品等を多数展示する当ギャラリーを 指定管理者と連携し適切に管理しながら、入館者増を目指すことが重要です。

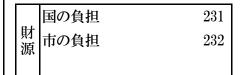
2. 平成31年度事業の内容

氷見市潮風ギャラリーの管理運営を指定管理者に委託します。

3. 目標値または実施により求める効果

指定管理者との連携により、年間入館者数を18,000人以上を目指します。

(単位:万円)



		(+12.7311)
経	委託料	288
費内	委託料 使用料及び賃借料	175
.訳		



⑥藤子スタジオ 氷見市潮風ギャラリー

拡充 まんがのまちづくり推進事業費

(前年度)

2,496万円

3,349万円

担当課 商工観光課

電話番号 74-8036

1. 本市の現状と課題

平成29年8月に潮風ギャラリーがアニメツーリズム協会の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に選定されました。このネットワークを生かすとともに、まちなかの「氷見市 藤子不二雄⑥まんがワールド」のクオリティアップを図り、全国レベルでまんがのまちとしての認知度を高め、来訪者を増加させることが重要です。

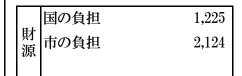
2. 平成31年度事業の内容

キャラクターグリーティングなどのイベント開催や潮風ギャラリーの展示内容充実、AR(拡張現実)機能を活用したウォーキングラリー実施、北の橋のキャラクターモニュメント設置など、まんがワールドの魅力を更に充実させます。

3. 目標値または実施により求める効果

「藤子不二雄A先生のふるさと・氷見市」ならではの取り組みを推進していくことで、本市への来訪者 増を図ります。

(単位:万円)



		(年四.刀口)
経	委託料	2,799
費肉	使用料及び賃借料	437
訳	委託料 使用料及び賃借料 その他	113



継続 田園空間博物館管理運営事業費

566万円

(前年度)

716万円

商工観光課、農林畜産課 担当課

電話番号 74-8036、74-8086

1. 本市の現状と課題

氷見市には、豊かな自然に育まれてきた農山漁村があり、地域の風土を活かした文化があります。この自然や 文化を誇りに思い、また多くの方に感じてもらうことが大切であります。

2. 平成31年度事業の内容

氷見市の伝統芸能である獅子舞を展示してある「氷見市獅子舞ミュージアム」や地元の特産品などを販売する 「お休み処熊無」、豊かな自然が感じられる「乱橋池トンボハウス」の管理運営を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

市内や市外の方が氷見市の自然や郷土文化に触れ、理解が深まります。

使用料 56 財 市の負担 510

		(単位:万円)
経	委託料	280
費出	委託料 光熱水費	135
訳	その他	151



200万円

継続 ひみまつり事業費補助金

(前年度)

200万円

担当課 商工観光課

電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

氷見の夏の風物詩である「ひみまつり」により多くの方に参加していただくため、イベントの魅力向上が求め られています。

2. 平成31年度事業の内容

「第47回ひみまつり」を主催する実行委員会に対し助成します。

3. 目標値または実施により求める効果

市内外の幅広い世代の方が参加したくなるようなイベントづくりを促進します。

	市の負担	200
財		
源		

	(単位:万円)
経 費 内 訳	200



漁業文化交流センター管理運営事業費 継続

1,055万円

(前年度)

1,106万円

担当課 商工観光課 電話番号

74-8106

1. 本市の現状と課題

平成28年11月に閉館した「ひみ漁業交流館 魚々座」を平成29年7月に「氷見市漁業文化交流センター」 として再び開館しました。

2. 平成31年度事業の内容

修学旅行など、漁業や魚食文化に関連する体験事業等の受け入れをはじめとした施設の利用を進めるととも に施設や展示物等の維持管理を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

関連する各種団体との連絡調整を図りながら、施設利用者へのサービスの提供や体験学習等の事業の円滑な 運営や施設利活用の促進を図ります。

> (単位:万円) 委託料

578

光熱水費 331 内 その他 146

漁業文化交流センタ (施設内)

拡充 漁業交流施設整備事業費

22

1,033

経

1億212万円

(前年度)

486万円

担当課 商工観光課

電話番号 74-8106

1. 本市の現状と課題

使用料

市の負担

財

源

平成27年4月、旧海鮮館をリニューアルし、「ひみ漁業交流館 魚々座」として開館しましたが、資金不足 により1年半で休館しました。平成29年7月に「氷見市漁業文化交流センター」として再び開館し、現在、 施設の再スタートに向けた準備を行っています。

2. 平成31年度事業の内容

氷見の漁村文化の魅力を発信する施設としての機能強化を図るため、漁業文化交流センターを再整備します。

3. 目標値または実施により求める効果

定置網を軸とした氷見の漁業や漁村文化等に関する情報を広く発信するとともに、中心市街地への回遊性の 向上と賑わい創出につなげることを目指します。

(単位: 万田)

	国の負担	5,106
財	市の負担	5,106
1/41		

		(平位:2011)
経	工事請負費	9,926
費内	工事請負費 委託料	286
訳		



漁業文化交流センター(外観)

継続棚田オーナー事業費

35万円

(前年度)

35万円

担当課 農林畜産課 電話番号

74-8086

1. 本市の現状と課題

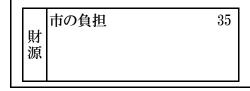
中山間地を多く抱える氷見市には多くの棚田があります。この棚田は、農作物の生産だけでなく水源涵養や 生物多様性など様々な働きを持っていますが、農業従事者の高齢化や離農により、耕作放棄地が増えている ことから、棚田の保全に取り組む必要があります。

2. 平成31年度事業の内容

長坂地区にある棚田において、首都圏などの方が田植えや稲刈り、はさ掛けを体験する棚田オーナー事業を 通して、農業や中山間の自然に触れ、棚田への理解や保全を図ります。

3. 目標値または実施により求める効果

棚田の保全と都市住民との交流を推進します。



		(単位:万円
経費内訳	補助及び交付金	35

